

信濃武士の甲冑と刀剣

三浦一郎 著

A5判 並製 三五二頁

予定価格(本体2,200円+税)

ISBN978-4-86366-927-7

今に伝わる信濃武士の武具・甲冑

平安時代から江戸初期にかけて在地豪族の諸勢力が拮抗を続ける信濃の中で、戦国時代の生き残りをかけて活躍した武将たちの刀剣・甲冑を紹介。信濃にのこる刀剣・甲冑その他武具を各年代別にカラー写真をまじえて詳細に解説。それぞれの時代に活躍した武将とともに、彼らが用いた武具類の精華と変遷をたどる。

目次

- 第1章 古代信濃国の兵
- 第2章 源平の争乱と信濃国
- 第3章 平安時代中期から鎌倉時代の武装形式
清水寺の鍬形／赤木家の大鎧／諏訪大社の刀剣／水無神社の太刀／佐久市の兜鉢(佐藤忠彦コレクション)
- 第4章 南北朝時代から室町時代の信濃国

- 第5章 南北朝時代から室町時代の武装形式
両羽神社の太刀／信玄・謙信一騎打ちの太刀／典厩寺の鉄炮 他
 - 第6章 安土桃山時代から江戸時代初期の信濃国の戦い
 - 第7章 安土桃山時代から江戸時代初期の武装形式
諏方大祝家伝来の胴丸／牛伏寺の兜 道光神社の刀／上田市立博物館の具足／駒形神社の太刀／善光寺の兜 他
- 信濃国略年表・甲冑武具用語索引

新解釈 関ヶ原合戦の真実

白峰 旬 著

脚色された天下分け目の戦い

四六判 並製 二四四頁

定価(本体1,300円+税)

ISBN978-4-86366-928-4

関ヶ原合戦の嘘と真実

これまで関ヶ原合戦に関する書籍は多数刊行されてきた。また、雑誌の特集やテレビの歴史ドラマや映画の題材としても、繰り返し放送されてきた。しかし、このお馴染みの合戦ストーリーは本当に歴史的事実であるのか。本書は、あくまでも一次史料により、これまで繰り返し再生産されてきたお馴染みの物語を真っ向から否定し、本当の関ヶ原合戦の事実を考察するものである。

目次

- 序 関ヶ原合戦はどう語られてきたのか
- 1 江戸時代の軍記物を作り出した虚偽に満ちた関ヶ原合戦像
- 2 軍記物が描く関ヶ原合戦はフィクションである 他
- 第1章 関ヶ原合戦当日の虚像を剥ぐ
- 1 先手勢による白兵戦のすさまじい実態
- 2 細川忠隆の軍勢の首注文 他
- 第2章 関ヶ原合戦以前の通説を正す
- 1 小山評定は歴史的事実ではない
- 2 家康方諸將の構成と兵力数

- 第3章 小早川秀秋を裏切らせた「問鉄砲」はフィクションである
 - 1 「日本戦史 関原役」における「問鉄砲」の記載
 - 2 諸史料における「問鉄砲」の記載 他
 - 第4章 「日本戦史」の布陣図に歴史的根拠はない
 - 1 超有名な「日本戦史」の布陣図に渦巻く数々の疑問
 - 2 江戸時代に流付した関ヶ原合戦の布陣図の内容検討
 - 3 「日本戦史」の布陣図は近代のオリジナル 他
- 終章 すりかえられた天下取りの戦い

注文書		
書店(帳合)印	条件	
注文数	担当	
冊	様	
書名	発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1 TEL(075)(441)7747 FAX(075)(441)8877	
信濃武士の甲冑と刀剣	三浦一郎 著	
ISBN978-4-86366-927-7	C3021 Y2200E	
定価(本体2200円+税)		
年	月	日

注文書		
書店(帳合)印	条件	
注文数	担当	
冊	様	
書名	発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1 TEL(075)(441)7747 FAX(075)(441)8877	
新解釈 関ヶ原合戦の真実	白峰 旬 著	
脚色された天下分け目の戦い		
ISBN978-4-86366-928-4	C0021 Y1300E	
定価(本体1300円+税)		
年	月	日

(株)宮帯出版社

京都市上京区真倉町739-1
TEL(075)441-7747

www.miyaobi.com
FAX(075)431-8877